

令和5年5月10日
記者発表



「わかやま森林と樹木の日」記念行事について

天皇皇后両陛下にご臨席を賜り行われた全国植樹祭の意義を後世に伝え、県民みんなで和歌山の森林や樹木を守り育て、緑豊かな和歌山を将来に引き継いでいくために、「わかやま森林と樹木の日」記念行事を行います。

記

- 日時 令和5年5月28日（日）13：30～14：10 ※雨天決行
- 場所 有田川町役場吉備庁舎（ちょうざいけ手水池のほとり畔）有田川町大字下津野 2018-4
- 主催 和歌山県
- 参加者 みどりの少年団他 約200名

【 わかやま森林と樹木の日記念行事 】

- ・ 主催者挨拶
- ・ 来賓挨拶
- ・ 表彰（和歌山県緑化功労賞）
- ・ 記念植樹
- ・ 記念撮影

【 令和5年度 和歌山県緑化功労賞 】

1. 顕彰の趣旨

和歌山の森林及び樹木を守り育てる条例に基づき、森林及び樹木を守り、又は育てる活動について、特に顕著な功績があった者を顕彰

2. 受賞者（九度山町東部林研グループ、日高川町林業研究会）

団体名：九度山町東部林研グループ

住 所：伊都郡九度山町九度山 1 1 9 0 番地

功 績：

当団体は、昭和 53 年に結成され、近年、緑育活動と黒炭生産に注力した活動を行っている。

平成 20 年度から九度山町内の小学生を対象に実施している緑育活動は、森林の公益的機能に関する学習や間伐・丸太切り体験などにより、森林資源を利用・保全し続けていく事で持続可能な大きな循環をつくり出すという事などを子供達に伝え、生涯にわたり環境や森林について学習する基盤を養っている功績は大きい。

更に、山に切り捨てられていた木材の有効活用の取組として、昭和 61 年から黒炭生産を開始、完成した木炭を地元ブランド品「九度山の木炭」として販売しており、こうした地域資源を活用した継続的な活動は、過疎化が進む山村地域において活性化の一助となっていることが高く評価された。

団体名：日高川町林業研究会

住 所：日高郡日高川町川原河 2 0 2 番地

功 績：

当団体は、「森林・林業を次世代につなぐ」という理念から、山主だけで無く、林業や木材に関わる人材により幅広く活動している。

また、次世代を担う子供達に、森林や林業について学習や体験をする緑育活動等を平成 24 年から行い、いかに森林が大切であるか理解を深める活動を継続的にやっている。

更に、地域材の需要拡大や「木の文化」に対する意識醸成を目的とした「木づかいどうしの会」に結成当時の平成 26 年から参画し活動を共にしている。

こうした地域資源を活かした取組と併せ、各種団体との連携によるイベント等を通じ、業として衰退しつつある林業の PR、次世代を担う子供達に環境と森林との関係について、理解と関心を深める活動が高く評価された。

3. 顕彰内容

和歌山県緑化功労賞（表彰状）

4. 表彰式

上記「わかやま森林と樹木の日」記念行事において表彰

問い合わせ先

担当課	森林整備課
担当者	宮本・中村
内 線	2972 2982
直 通	073-441-2972(直)